

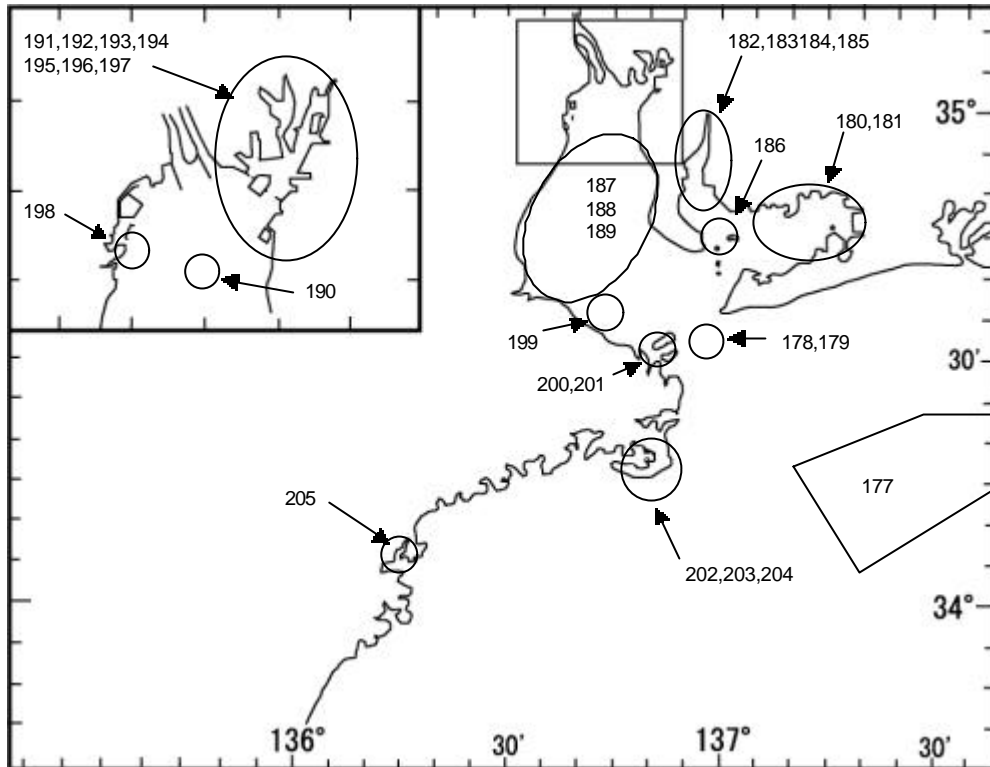
四管区水路通報第9号

平成14年3月6日

第四管区海上保安本部

第177項	本州南岸	遠州灘	射撃訓練
第178項	本州南岸	伊良湖水道付近	観測用浮標改良作業
第179項	本州南岸	伊良湖水道付近、神島	ボーリング調査
第180項	本州南岸	三河港及付近	環境調査
第181項	本州南岸	三河港北部	小型船舶操縦訓練
第182項	本州南岸	衣浦港及付近	環境調査
第183項	本州南岸	衣浦港及付近	環境調査
第184項	本州南岸	衣浦港	水深減少
第185項	本州南岸	衣浦港	栈橋点検作業
第186項	本州南岸	師崎水道、日間賀島北方	水深減少
第187項	伊勢湾		環境調査
第188項	伊勢湾		起重機船作業等
第189項	本州南岸	常滑港沖	水質調査
第190項	伊勢湾北部		観測機器設置期間変更
第191項	名古屋港	東航路	海底調査
第192項	名古屋港	第1区	海上行事
第193項	名古屋港	第1区	船舶通航信号所現状変更
第194項	名古屋港	第4区	音波探査作業
第195項	名古屋港	第4区	潜水作業
第196項	名古屋港	第5区	起重機船作業
第197項	名古屋港	第5区	海底波高計点検作業
第198項	本州南岸	四日市港、第1航路	海底調査
第199項	伊勢湾	豊北漁港	掘下げ等作業
第200項	本州南岸	鳥羽港	護岸工事期間延長
第201項	本州南岸	鳥羽港	航泊禁止
第202項	本州南岸	菅埼北部、相差漁港	起重機船作業
第203項	本州南岸	布施田水道	灯標保守等作業
第204項	本州南岸	英虞湾	架空線復旧作業
第205項	本州南岸	尾鷲港	ダイビング講習等

お知らせ



14年177項 本州南岸 - 遠州灘 射撃訓練

自衛隊航空機による空対空射撃訓練が実施される。

期間 平成14年4月1日～5月31日（日曜日及び祝祭日を除く）毎日0900～1630

区域 下記6地点を結ぶ線により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| (1) 34-17-00N 137-12-00E | 34-17-12N 137-11-49E |
| (2) 34-23-27N 137-29-38E | 34-23-39N 137-29-27E |
| (3) 34-23-30N 137-37-54E | 34-23-42N 137-37-43E |
| (4) 34-17-38N 137-50-28E | 34-17-50N 137-50-17E |
| (5) 34-14-12N 137-48-56E | 34-14-24N 137-48-45E |
| (6) 34-04-10N 137-19-18E | 34-04-22N 137-19-07E |

備考 射撃訓練は、射撃海面に船舶等が存在しないことを確認しながら実施する。

海図 W70-61B-W61B

出所 防衛庁航空幕僚監部

14年178項 本州南岸 - 伊良湖水道付近 観測用浮標改良作業

下記地点で観測用浮標改良作業が実施されている。

期間 平成14年3月6日まで（予備日3月7日～31日）の日出～日没

位置 下記2地点

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| (1) 34-22-16.0N 137-07-40.0E | 34-22-28.0N 137-07-29.3E |
| (2) 34-30-01.3N 136-56-27.2E | 34-30-13.2N 136-56-16.6E |

海図 W1051

出所 鳥羽海上保安部

14年179項 本州南岸 - 伊良湖水道付近、神島 ボーリング調査

神島漁港でボーリング調査が実施される。

期 間 平成14年3月13日～23日まで(予備日3月24日～29日)の0830～1630

位 置 下記3地点

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

- | | | | | |
|-----|-------------|--------------|-------------|--------------|
| (1) | 34-32-50.5N | 136-58-58.7E | 34-33-02.4N | 136-58-48.1E |
| (2) | 34-32-49.2N | 136-58-56.5E | 34-33-01.1N | 136-58-45.9E |
| (3) | 34-32-50.4N | 136-58-55.3E | 34-33-02.3N | 136-58-44.7E |

標 識 ボーリングやぐらに赤旗を設置する。

海 図 W1064 - W1053

出 所 鳥羽海上保安部

14年180項 本州南岸 - 三河港及付近 環境調査

下記地点で水質調査及び採泥調査が実施される。

期 間 平成14年4月1日～平成15年3月31日(毎月8日間)までの0930～1600

位 置 下記20地点

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

- | | | | | |
|------|-----------|------------|-----------|------------|
| (1) | 34-48-06N | 137-12-24E | 34-48-18N | 137-12-13E |
| (2) | 34-49-00N | 137-13-24E | 34-49-12N | 137-13-13E |
| (3) | 34-43-48N | 137-17-06E | 34-44-00N | 137-16-55E |
| (4) | 34-44-12N | 137-13-12E | 34-44-24N | 137-13-01E |
| (5) | 34-48-00N | 137-13-42E | 34-48-12N | 137-13-31E |
| (6) | 34-43-00N | 137-11-12E | 34-43-12N | 137-11-01E |
| (7) | 34-41-15N | 137-06-45E | 34-41-27N | 137-06-34E |
| (8) | 34-45-00N | 137-07-18E | 34-45-12N | 137-07-07E |
| (9) | 34-45-48N | 137-16-30E | 34-46-00N | 137-16-19E |
| (10) | 34-42-18N | 137-04-06E | 34-42-30N | 137-03-55E |
| (11) | 34-44-30N | 137-04-30E | 34-44-42N | 137-04-19E |
| (12) | 34-40-48N | 137-11-36E | 34-41-00N | 137-11-25E |
| (13) | 34-39-48N | 137-07-36E | 34-40-00N | 137-07-25E |
| (14) | 34-40-18N | 137-06-00E | 34-40-30N | 137-05-49E |
| (15) | 34-47-42N | 137-15-00E | 34-47-54N | 137-14-49E |
| (16) | 34-46-06N | 137-09-18E | 34-46-18N | 137-09-07E |
| (17) | 34-44-24N | 137-16-01E | 34-44-36N | 137-15-50E |
| (18) | 34-45-48N | 137-18-00E | 34-46-00N | 137-17-49E |
| (19) | 34-46-06N | 137-12-18E | 34-46-18N | 137-12-07E |
| (20) | 34-45-10N | 137-06-43E | 34-45-22N | 137-06-32E |

海 図 W1057A - W1057B - W1052

出 所 三河港長

14年181項 本州南岸 - 三河港北部 小型船舶操縦訓練

三谷漁港南東方で小型船舶操縦訓練が実施される。

期 間 平成14年4月1日～平成15年3月31日までの0900～1700

(6)	34-43-36N	136-59-48E	34-43-48N	136-59-37E
(7)	34-47-54N	136-59-18E	34-48-06N	136-59-07E
(8)	34-44-30N	137-04-30E	34-44-42N	137-04-19E
(9)	34-42-18N	137-04-06E	34-42-30N	137-03-55E
(10)	34-45-00N	136-57-36E	34-45-12N	136-57-25E
(11)	34-46-12N	136-56-24E	34-46-24N	136-56-13E
(12)	34-47-02N	136-55-52E	34-47-14N	136-55-41E
(13)	34-45-49N	137-04-53E	34-46-01N	137-04-42E
(14)	34-44-24N	137-00-10E	34-44-36N	136-59-59E

海 図 W 1 0 5 6 - W 1 0 5 2 - W 1 0 5 3
出 所 衣浦港長

1 4 年 1 8 4 項 本州南岸 - 衣浦港 水深減少

最近の測量によれば、下記区域の水深は最浅で約1.6mに減少している。

区 域 下記2地点を結ぶ線上付近

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-48.3N 136-59.1E

34-48.5N 136-58.9E

(2) 34-47.6N 136-59.1E

34-47.8N 136-58.9E

海 図 W 1 0 5 6

出 所 四本部水路部

1 4 年 1 8 5 項 本州南岸 - 衣浦港 棧橋点検作業

下記区域で棧橋点検作業が実施される。

期 間 平成14年3月7日～25日までの日出～日没

区 域 下記4地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-53-49.6N 136-58-48.9E

34-54-01.4N 136-58-38.2E

(2) 34-53-49.6N 136-58-47.7E

34-54-01.4N 136-58-37.0E

(3) 34-53-56.1N 136-58-47.7E

34-54-07.9N 136-58-37.0E

(4) 34-53-56.1N 136-58-48.9E

34-54-07.9N 136-58-38.2E

海 図 W 1 0 5 6

出 所 衣浦港長

1 4 年 1 8 6 項 本州南岸 - 師崎水道、日間賀島北方 水深減少

最近の測量によれば、下記区域の水深は最浅で約4.8mに減少している。

区 域 下記位置を中心とする半径0.1海里の円内

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-43-09N 137-01-06E

34-43-21N 137-00-55E

海 図 W 1 0 5 4 - W 1 0 5 2 - W 1 0 5 3

出 所 四本部水路部

1 4 年 1 8 7 項 伊勢湾 環境調査

下記地点で水質調査及び採泥調査が実施される。

期 間 平成14年4月1日～平成15年3月31日(毎月4日間)までの1000～1600

位置	下記19地点			
	[日本測地系]		[世界測地系 WGS-84]	
	(1)	34-53-12N 136-48-12E	34-53-24N	136-48-01E
	(2)	34-53-42N 136-47-48E	34-53-54N	136-47-37E
	(3)	34-53-12N 136-45-00E	34-53-24N	136-44-49E
	(4)	34-45-00N 136-45-00E	34-45-12N	136-44-49E
	(5)	34-37-00N 136-53-00E	34-37-12N	136-52-49E
	(6)	34-50-00N 136-51-24E	34-50-12N	136-51-13E
	(7)	34-40-00N 136-50-49E	34-40-12N	136-50-38E
	(8)	34-34-48N 136-53-48E	34-35-00N	136-53-37E
	(9)	34-34-48N 136-51-00E	34-35-00N	136-50-49E
	(10)	34-36-30N 136-45-54E	34-36-42N	136-45-43E
	(11)	34-39-00N 136-42-00E	34-39-12N	136-41-49E
	(12)	34-42-48N 136-38-18E	34-43-00N	136-38-07E
	(13)	34-48-24N 136-39-00E	34-48-36N	136-38-49E
	(14)	34-53-00N 136-41-24E	34-53-12N	136-41-13E
	(15)	34-40-42N 136-45-48E	34-40-54N	136-45-37E
	(16)	34-49-00N 136-45-00E	34-49-12N	136-44-49E
	(17)	34-47-36N 136-49-00E	34-47-48N	136-48-49E
	(18)	34-43-30N 136-51-24E	34-43-42N	136-51-13E
	(19)	34-40-30N 136-55-30E	34-40-42N	136-55-19E
海図	W 9 5 - W 1 0 5 1			
出所	名古屋海上保安部			

14年188項 伊勢湾 起重機船作業等

下記区域で起重機船による積込み作業が実施され、次頁に示す経路で海上運搬される。

期間 平成14年3月8日（予備日3月9日～14日）の日出～日没

区域 下記4地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

	[日本測地系]		[世界測地系 WGS-84]	
	(1)	34-40-13.7N 136-32-48.8E	34-40-25.5N	136-32-38.3E
	(2)	34-40-19.1N 136-32-53.2E	34-40-30.9N	136-32-42.7E
	(3)	34-40-14.9N 136-33-00.7E	34-40-26.7N	136-32-50.2E
	(4)	34-40-09.5N 136-32-56.3E	34-40-21.3N	136-32-45.8E

備考 警戒船を配備する。

海図 W 8 8 - W 9 5

出所 四日市海上保安部



14年189項 本州南岸 - 常滑港沖 水質調査

下記地点で水質調査が実施される。

期 間 平成14年4月1日～6月30日までの日出～日没
位 置 下記10地点

	[日本測地系]	[世界測地系 WGS-84]
(1)	34-54.6N 136-47.6E	34-54.8N 136-47.4E
(2)	34-54.3N 136-45.9E	34-54.5N 136-45.7E
(3)	34-51.9N 136-45.4E	34-52.1N 136-45.2E
(4)	34-49.8N 136-45.9E	34-50.0N 136-45.7E
(5)	34-48.1N 136-49.0E	34-48.3N 136-48.8E
(6)	34-49.7N 136-48.8E	34-49.9N 136-48.6E
(7)	34-50.1N 136-48.0E	34-50.3N 136-47.8E
(8)	34-51.2N 136-47.7E	34-51.4N 136-47.5E
(9)	34-52.2N 136-47.5E	34-52.4N 136-47.3E
(10)	34-52.9N 136-48.0E	34-53.1N 136-47.8E

海 図 W1055B - W95
出 所 名古屋海上保安部

14年190項 伊勢湾北部 観測機器設置期間変更

(四管区水路通報 14年 6号 124項 削除)

下記地点の波浪・流況調査は期間を変更して実施されている。

期 間 平成14年3月31日まで(予備日4月1日～15日)まで
位 置 下記地点

	[日本測地系]	[世界測地系 WGS-84]
(1)	34-55.7N 136-44.6E	34-55.9N 136-44.4E

備 考 (1)警戒船を配備する。
(2)潜水作業を伴う。

海 図 W1055B - W94 - W95
出 所 名古屋海上保安部

14年191項 名古屋港 - 東航路 海底調査

下記10基の灯浮標付近で水深測量及び底質調査が実施される。

期 間 平成14年3月12日～14日(予備日3月15日～20日)までの日出～日没
位 置 下記10地点付近

	[日本測地系]	[世界測地系 WGS-84]
(1)名古屋港東航路第二号灯浮標	34-56-55.7N 136-47-39.1E	34-57-07.4N 136-47-28.5E
(2)名古屋港東航路第三号灯浮標	34-57-54.8N 136-48-02.6E	34-58-06.5N 136-47-52.0E
(3)名古屋港東航路第四号灯浮標	34-56-54.5N 136-48-19.2E	34-57-06.2N 136-48-08.6E
(4)名古屋港東航路第五号灯浮標	34-58-32.4N 136-48-44.2E	34-58-44.1N 136-48-33.6E
(5)名古屋港東航路第六号灯浮標	34-58-44.9N 136-49-06.6E	34-58-56.6N 136-48-56.0E
(6)名古屋港東航路第七号灯浮標	34-59-37.3N 136-49-25.3E	34-59-49.0N 136-49-14.6E
(7)名古屋港東航路第八号灯浮標	34-59-24.8N 136-49-38.5E	34-59-36.5N 136-49-27.8E
(8)名古屋港東航路第十号灯浮標	34-59-51.7N 136-50-00.6E	35-00-03.4N 136-49-49.9E
(9)名古屋港東航路第十一号灯浮標	35-00-48.8N 136-50-23.1E	35-01-00.5N 136-50-12.4E
(10)名古屋港東航路第十二号灯浮標	35-00-39.6N 136-50-38.8E	35-00-51.3N 136-50-28.1E

備 考 (1)警戒船を配備する。
(2)潜水作業を伴う。

海 図 W1055A - W1055B
出 所 四本部灯台部

14年192項 名古屋港 - 第1区 海上行事

ガーデンふ頭3号岸壁前面海域で多目的ひき船「金城丸」の体験乗船会が実施される。

期 間 平成14年3月13日の1000～1600
位 置 下記地点付近

	[日本測地系]	[世界測地系 WGS-84]
(1)	35-05.0N 136-53.0E	35-05.2N 136-52.8E

海 図 W1055A
出 所 名古屋港長

14年193項 名古屋港 - 第1区 船舶通航信号所現状変更

下記の船舶通航信号所は次のとおり現状が変更される。

名 称 名古屋船舶通行信号所

期 間 平成14年4月1日(予定)

	[日本測地系]	[世界測地系 WGS-84]
(1)	35-01-54N 136-50-57E	35-02-06N 136-50-46E

通報用 (新規追加)

三 ファクシミリによる場合
052-398-1379

四 インターネットによる場合
<http://www.nagoyako.kaiho.mlit.go.jp>

通報事項 (変更前)一 無線電話による場合
(変更後)一 無線電話、ファクシミリ及びインターネットによる場合

通報時間 (変更前)二 電話による場合
(変更後)二 電話、ファクシミリ及びインターネットによる場合

海 図 W1055A

出 所 四本部灯台部

14年194項 名古屋港 - 第4区 音波探査作業

飛島ふ頭(西4区)U3岸壁前面海域で音波探査作業が実施される。

期 間 平成14年3月7日～11日まで(予備日3月12日～15日)の日出～日没

区 域 下記4地点により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 35-01-28.9N 136-49-45.0E 35-01-40.6N 136-49-34.3E

(2) 35-01-27.6N 136-49-45.4E 35-01-39.3N 136-49-34.7E

(3) 35-01-23.8N 136-49-25.0E 35-01-35.5N 136-49-14.3E

(4) 35-01-25.1N 136-49-24.7E 35-01-36.8N 136-49-14.0E

海 図 W1055A

出 所 名古屋港長

14年195項 名古屋港 - 第4区 潜水作業

下記地点で潜水作業による落下物埋没調査が実施される。

期 間 平成14年3月15日の0830～1730

位 置 下記地点

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 35-00-48N 136-50-15E 35-01-00N 136-50-04E

備 考 警戒船を配備する。

海 図 W1055A

出 所 名古屋港長

14年196項 名古屋港 - 第5区 起重機船作業

下記区域で起重機船による水流発生装置の設置作業が実施される。

期 間 平成14年3月12日～14日(予備日3月15日～20日)までの日出～日没

区 域 下記4地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-58-57.3N 136-50-14.9E 34-59-09.0N 136-50-04.2E

(2) 34-58-54.8N 136-50-20.0E 34-59-06.5N 136-50-09.3E

(3) 34-58-58.4N 136-50-22.7E 34-59-10.1N 136-50-12.0E

(4) 34-59-00.9N 136-50-17.6E 34-59-12.6N 136-50-06.9E

備 考 (1)警戒船を配備する。

(2)潜水作業を伴う。

海 図 W1055A - W1055B

出 所 名古屋港長

14年197項 名古屋港 - 第5区 海底波高計点検作業

北浜ふ頭(南4区)L2棧橋先端で海底波高計の点検修理作業が実施される。

期 間 平成14年3月13日(予備日3月14日)の日出～日没

位 置 下記地点及び付近

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-57-58N 136-49-07E 34-58-10N 136-48-56E

備 考 潜水作業を伴う。

海 図 W 1 0 5 5 B
出 所 名古屋港長

1 4 年 1 9 8 項 本州南岸 - 四日市港、第 1 航路 海底調査

下記2基の灯浮標付近で水深測量及び底質調査が実施される。

期 間 平成14年3月18日,19日(予備日3月20日~26日)までの日出~日没

位 置 下記2地点付近

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1)四日市港第一航路第一号灯浮標 34-56-34.6N 136-40-31.1E 34-56-46.3N 136-40-20.5E

(2)四日市港第一航路第二号灯浮標 34-56-44.2N 136-40-32.4E 34-56-55.9N 136-40-21.8E

備 考 (1)警戒船を配備する。

(2)潜水作業を伴う。

海 図 W 9 4

出 所 四本部灯台部

1 4 年 1 9 9 項 伊勢湾 - 豊北漁港 掘下げ等作業

下記区域で掘下げ作業及び覆砂作業が実施されている。

期 間 平成14年3月15日までの0800~1700

区 域 1 (掘下げ作業)

下記位置を中心とする半径50mの円内

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-32-15.7N 136-42-27.8E 34-32-27.6N 136-42-17.2E

2 (覆砂作業)

下記位置を中心とする半径50mの円内

(2) 34-32-36.5N 136-42-47.0E 34-32-48.4N 136-42-36.4E

標 識 作業区域に赤旗付竹竿及び黄灯付浮標を設置する。

備 考 警戒船を配備する。

海 図 W 1 0 5 1

出 所 鳥羽海上保安部

1 4 年 2 0 0 項 本州南岸 - 鳥羽港 護岸工事期間延長

(四管区水路通報 13年 43号 1175項 関連)

下記区域の護岸工事は期間を延長して実施されている。

期 間 平成14年6月30日までの0800~1700

区 域 下記位置を中心とする半径40mの円内

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-29-36N 136-50-47E 34-29-48N 136-50-36E

備 考 潜水作業を伴う。

海 図 W 7 3

出 所 鳥羽海上保安部

1 4 年 2 0 1 項 本州南岸 - 鳥羽港 航泊禁止

(四管区水路通報 13年 38号 1039項 関連)

港湾改修工事実施に伴い、航泊禁止区域が設定される。

期 間 平成14年4月1日~30日まで

区 域	下記7地点を結ぶ線及び陸岸により囲まれる区域			
	[日本測地系]		[世界測地系 WGS-84]	
	(1)	34-29-17.5N 136-50-51.8E	34-29-29.4N	136-50-41.2E
	(2)	34-29-17.1N 136-50-56.1E	34-29-29.0N	136-50-45.5E
	(3)	34-29-18.5N 136-50-59.7E	34-29-30.4N	136-50-49.1E
	(4)	34-29-15.3N 136-51-00.2E	34-29-27.2N	136-50-49.6E
	(5)	34-29-03.0N 136-50-56.8E	34-29-14.9N	136-50-46.2E
	(6)	34-29-03.7N 136-50-53.6E	34-29-15.6N	136-50-43.0E
	(7)	34-29-10.9N 136-50-51.1E	34-29-22.8N	136-50-40.5E
標 識	航泊禁止区域に灯付浮標及び標識灯を設置する。			
備 考	作業中は警戒船を配備する。			
海 図	W 7 3			
出 所	鳥羽海上保安部長公示第3号			

14年202項	本州南岸 - 菅崎北部、相差漁港 起重機船作業			
	下記区域で起重機船による消波ブロック設置作業が実施されている。			
期 間	平成14年8月30日までの0800～1700			
区 域	下記位置を中心とする半径50mの円内			
	[日本測地系]		[世界測地系 WGS-84]	
	(1)	34-22-56N 136-54-46E	34-23-08N	136-54-35E
標 識	作業区域には赤旗付竹竿及び黄灯付浮標を設置する。			
備 考	(1)警戒船を配備する。			
	(2)潜水作業を伴う。			
海 図	W 1 0 5 1			
出 所	鳥羽海上保安部			

14年203項	本州南岸 - 布施田水道 灯標保守等作業			
	下記区域で灯標保守作業及び海底線点検作業が実施されている。			
期 間	平成14年3月11日まで(予備日3月12日～22日)の0800～1700			
区 域	1	(灯標保守作業)		
		下記2地点		
		[日本測地系]	[世界測地系 WGS-84]	
	(1)	34-13-48N 136-50-06E	34-14-00N	136-49-55E
	(2)	34-14-08N 136-48-31E	34-14-20N	136-48-21E
	2	(海底線点検作業)		
		下記2地点を結ぶ線上付近		
	(3)	34-14-58N 136-48-42E	34-15-10N	136-48-31E
	(4)	34-14-08N 136-48-31E	34-14-20N	136-48-21E
備 考	(1)潜水作業を伴う。			
	(2)警戒船を配備する。			
海 図	W 1 0 9 0			
出 所	鳥羽海上保安部			

14年204項 本州南岸 - 英虞湾 架空線復旧作業

下記区域で架空線復旧作業が実施される。

期間 平成14年3月7日（予備日3月8日）の1000～1700

区域 下記2地点を結ぶ線上付近

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-17-46N 136-49-25E

34-17-58N 136-49-14E

(2) 34-17-41N 136-49-27E

34-17-53N 136-49-16E

備考 警戒船を2隻配置する。

海図 W78

出所 鳥羽海上保安部

14年205項 本州南岸 - 尾鷲港 ダイビング講習等

下記地点付近でレジャーダイバーのガイド及び講習が実施されている。

期間 平成14年5月31日までの0800～1600

位置 下記地点付近

[日本測地系]

[世界測地系 WGS-84]

(1) 34-04-16.8N 136-14-48.0E

34-04-28.8N 136-14-37.6E

備考 警戒船を配備する。

海図 W1059

出所 尾鷲海上保安部

お知らせ

「H-131W 伊勢湾」が改版されました。

(財)日本水路協会発行の標記ヨット・モーターボート用参考図は、航海安全情報を最新のものに改訂し、測地系を世界測地系(WGS-84)に変更して、さらに使いやすい参考図になりました。

B3版(両面多色刷り) 定価1,400円(税別)

「四管区水路通報」に関する問い合わせ先

第四管区海上保安本部 水路部 監理課 図誌係

〒455-8528 名古屋市港区入船2-3-12

名古屋港湾合同庁舎(6階)

TEL 052-661-1611(内線315)

FAX 052-654-2536(FAXサービス兼用)

E-mail zushi4@cue.jhd.go.jp

第四管区海上保安本部水路部インターネットアドレス

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN4/index.htm>

海上保安庁水路部インターネットアドレス

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/>

また、FAXによるポーリングサービスも行っています。

FAX番号は『052-654-2536』です。

なお、IDコードやパスワードは設定していません。

(ポーリング受信のモードで、上記番号にアクセスします。機種によってはパスワードの入力を求められますが、その際は適当な4桁の数を入力します。)

インターネットによる航行警報の提供について

インターネットにより、航行警報（NAVAREA XI航行警報、NAVTEX 航行警報、日本航行警報、管区（部署）航行警報）を提供しています。

また、携帯電話（iモード、EZ-ウェブ、J-SKYウェブ）へのサービスとして、NAVTEX 航行警報、管区（部署）航行警報のうち、沿岸海域（約50キロメートル以内）を設け提供しています。

航行警報アドレス <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/TUHO/nwj.html>

携帯電話用アドレス

iモード対応機種 <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/keitai/TUHO/keiho/>

EZ-ウェブ対応機種 <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/TUHO/keiho/ez/>

J-SKYウェブ対応機種 <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/TUHO/keiho/js/>

日本測地系と世界測地系の経緯度変換について

「測量法及び水路業務法の一部を改正する法律」(平成13年6月20日公布)の施行により経緯度の基準が4月1日以降、世界標準である世界測地系に変更されます。

海上保安庁では、海事関係者等皆様の便宜を図るため、経緯度数値を世界測地系に変換するコンピュータプログラムをインターネット上で公開しました。

変換プログラムは、海域について日本測地系と世界測地系（WGS84）の経緯度数値を相互に変換できるようになっておりますので、海域で経緯度数値を利用している方々で現在の経緯度数値を世界測地系に基づく経緯度数値に変更する場合などに本プログラムをご利用下さい。

インターネットアドレス：<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/>

世界測地系への移行及び日本測地系海図の廃版について

1 平成14年3月までは・・・

- ・我が国の海図のうち、日本及びその周辺海域の海図については、従来は日本測地系で刊行されていましたが、平成12年4月からは世界測地系で刊行しており、平成14年3月末までに、全て世界測地系海図へ移行されます。
- ・日本測地系海図によるものと世界測地系海図による海図が混在しますので、使用に際しては海図に使われている測地系とGPS等の測位システムの測地系を一致させるなど十分注意されるようお願いいたします。
- ・従来の日本測地系海図は、平成13年10月から段階的に廃版され、平成14年3月末までに全て廃版となります。
- ・水路通報及び航行警報の位置表示は、日本及びその周辺海域については原則として日本測地系と世界測地系を併記することとしています。ただし、入手情報のうち測地系が明らかでない場合、また緊急に知らせる必要がある漂流物等については、「測地系不明」として提供する場合もあります。

2 平成14年4月以降は・・・

- ・緯度・経度は世界測地系に統一され、日本測地系海図は、全て使えなくなります。
- ・水路通報・航行警報の位置表示は、世界測地系のみになります。

このため、

下図の日本測地系海図の廃版予定及び「水路図誌目録」(平成13年7月刊行、同14年3月改版予定)を参照のうえ、早期に世界測地系海図の使用に移行されるようお願いいたします。

世界測地系海図の刊行及び日本測地系海図の廃版の詳細については、別途毎週の水路通報などでお知らせすることとしています。

廃版予定海域及び時期

時期 平成13年10月～11月

東京湾
伊勢湾及び付近
大阪湾及び紀伊水道
瀬戸内海
本州南岸
四国南岸

時期 平成13年11月～14年3月

九州沿岸
本州北西岸

時期 平成13年12月～14年3月

北海道沿岸

時期 平成14年1月～2月

本州東岸

時期 平成14年1月～3月

南方・南西諸島

(注) 以上の他、番号5000台の海図及び一部の海図の中には廃版されていないものもありますので、詳細は水路図誌目録を参照して下さい。

